



魚成保育所 入園式



重要伝統的建造物群保存地区 卯之町の町並み



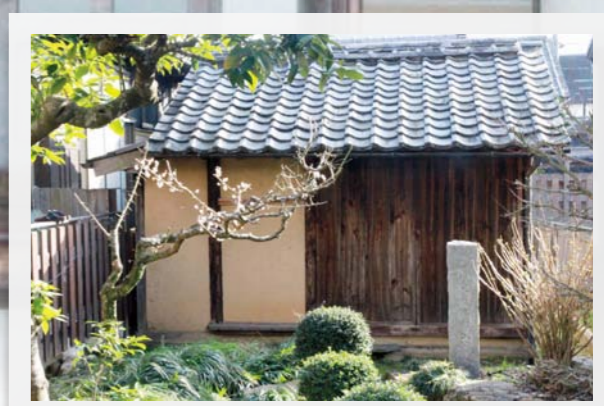
宇和先哲記念館



明石寺



開明学校



高野長英の隠家

## ジオポイントを巡る vol.1

「卯之町の町並み編」  
脈川上流エリア

四国西予ジオパークには、4つのエリアがあり、その中に現在73のジオポイントが点在しています。  
今号より、各エリアの中からより多くのジオポイントを紹介していきます。  
みなさまポイント巡りに出かけましょう！

### 編集後記

3月定例会が終了し283億円の予算が可決決定いたしました。  
地方創生が注目される中、議会でも「西予市創生特別委員会」が設置され、ジオパークを中心とする地方の活性化を研究する運びとなりました。行政が行う創生戦略策定事業に合わせて施策提言を行ってまいります。  
HPで見られる「議会だより」が、今回から全ページカラーとなりますのでお楽しみください。  
陽

- 編集委員
- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 菊池 純一 |
| 副委員長 | 兵頭 学  |
| 委員   | 源 正樹  |
|      | 井関 陽一 |
|      | 中村 敬治 |
|      | 二宮 孝志 |
|      | 元親 孝志 |

平成27年度当初予算可決 P2 P3

市議会合併10周年の歩み P13

議員定数・報酬・政務活動費審査報告 P14 P15

議会運営委員会



# 「地方創生」起死回生は可能か

## 一般会計予算283億 4400万円を可決

3月定例会

3月定例会

3月定例会が、3月2日から19日までの会期で開催されました。条例案件29件、平成26年度補正予算12件、平成27年度当初予算13件を可決しました。代表質問は2人会派、一般質問は3名が登壇して地方創生等について質問しました。



### 汚泥再生処理施設整備事業 7億8652万円

平成29年度の供用開始をめざし、前年度に引き続き、造成及び本体工事を実施



### 住宅リフォーム事業 1500万円

補正予算の1000万円分とあわせて合計2500万円で実施

### 一般会計主な事業

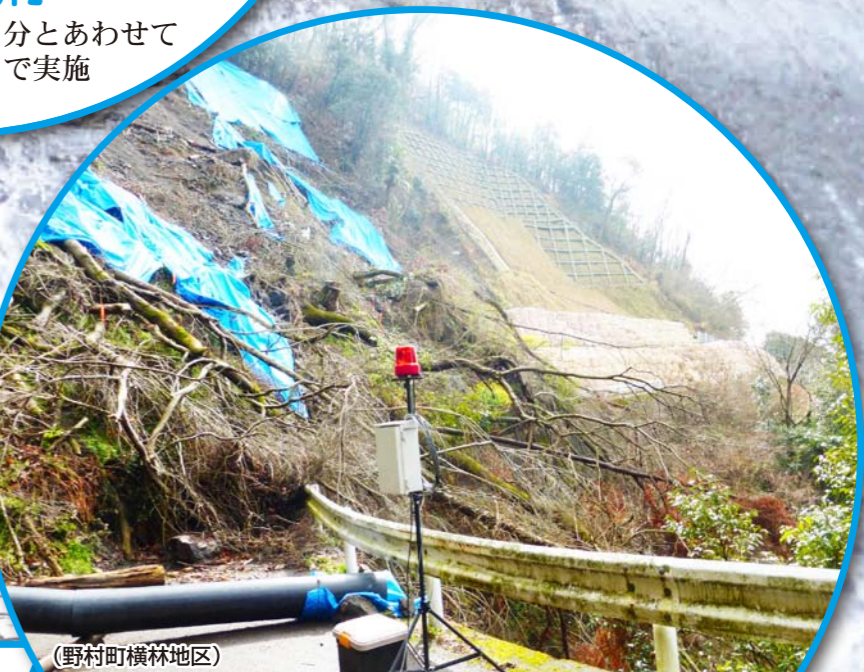
- |                                              |        |
|----------------------------------------------|--------|
| 1. 卯之町「はちのじ」まちづくり事業                          | 605万円  |
| 2. 移住交流促進事業                                  | 301万円  |
| 空き家バンクを構築する                                  |        |
| 3. 養蚕業後継者育成事業                                | 430万円  |
| 地域おこし協力隊事業を利用し養蚕振興活動を実施する                    |        |
| 4. 市産材木造住宅建設促進事業                             | 1000万円 |
| 5. 経済振興資金供給モデル事業                             | 1940万円 |
| 「西予市経済資金供給協議会」における審査を通過したものに対し、上限2000万円を出資する |        |
| 6. 観光関係各種負担金協賛事業                             | 1445万円 |
| 南予9市町と連携して南予全域を対象とした南予活性化イベントを開催             |        |
| 7. ジオパーク推進事業                                 | 2672万円 |
| 市民が取り組むジオパーク推進事業に補助金を交付する                    |        |
| 8. 危険空家除却事業                                  | 400万円  |
| 9. 防災行政無線デジタル整備事業                            | 3298万円 |
| 野村地区以外の電波調査及び明浜・三瓶地区の実施設計を行う                 |        |

※予算額につきましては、万円未満を四捨五入の数字です。



### 市道舗装点検調査・補修事業 3000万円

市内全域の主要な1級、2級路線及び特号線において、舗装補修工事を実施



### 市道赤木佐須線道路災害復旧事業 7億9126万

平成26年度の調査測量及び観測結果に基づき実施

# 大切な人を守る 災害備蓄を

総務常任委員会

## 災害備蓄

Q 備蓄の取り組み状況とアレルギーの人への対応は。

A 人口の10%を目標に5年間の年次計画で進めています。飲料・水・毛布について予定どおり60%の整備です。アレルギー対応は困難ですが、乳幼児ミルクは対応しています。

危機管理課

## 成人式

Q 記念品予算が減額となった理由は。

A 今回、新成人の方々を交えて検討した結果、記念品を集合写真とし、式全体の内容を心に残る形式にするよう検討します。

生涯学習課

## デマンドタクシー

Q 5地区路線の運行経営状況は。

A デマンド運行の導入によるタクシー売上減は経費面で考慮していきます。利用者の少ない宇和地区では、利用方法のPRと改善を進めます。

企画調整課

## えひめ国体開催会場の整備状況調査



宇和球場(左)・宇和運動公園(右)

平成29年に第72回国民体育大会「えひめ国体」が開催されます。成年女子ソフトボール競技会場となる宇和球場と宇和運動公園(両会場とも開催日は10月1日~3日)では順調に工事が進んでいます。

また市内では相撲競技を乙亥会館で開催します。(10月6日~8日)

## 緊急車両進入路

Q 高速道路宇和町下川緊急車両進入路の使用状況は。

A 平成24年から運用し現在まで218件(年間70件位)搬送しています。宇和島方面には5分位の短縮で大変役立っています。

消防本部

## インドネシア(バンタエン県)

Q 市では、どのような貢献をしているのか。

A 平成24年から不用となった救急車・積載車等を11台寄贈して、アブドゥラ知事が御礼に来られました。今後も続ける予定です。

消防本部

## 10周年記念事業

Q 17の事業を実施したが、その効果は。

A 代表的なものは西予部マネージャー・西予市の歌等があり、イベントやラジオ等で情報発信しており、知名度の向上になったと思います。

企画調整課

## 総務 常任委員会

問

西予市の財政状況は。

市長

地方債残高(借金)は来年度末に367億になる予定ですが、一方、国に対して臨時財政対策債(預金)が90億以上あり、これは本来交付税として配分される性質のもので、考え方としては積立しているものです。また、合併特例債、過疎債、辺地債が交付税として措置され、実質の借金は110から120億です。

基金が約117億あり、財政指数からは健全な状態にあると、ある程度判断します。

財務部長

借入金のパランスシート上は、倒産には当たらないと思います。ただ、このままの財政状況が続けば、かなり危機的な状況になると思います。

問

目的基金の考え方は。

市長

目的を持つて基金を作ることには大事だと考えます。また、目的基金が終了すると、一般会計に繰り戻すので問題ないと考えます。

問

用悪水路維持管理事業の内容は。

産建部長

この工事は、砂防工事・南蔵貫裏川流末水路改修工事です。700万円予定してま



用悪水路の現状(三瓶町)

## 西予市の財政状況は

ある程度、健全な状況

市長

危機感を持って取り組む

財務部長

## 質疑

問

石城駅横踏切拡張工事の状況は。

産建部長

計画通りに進んでいます。

問

経済振興資金供給モデル事業で、新規起業家へ周知する方法は。

財務部長

庁舎前に懸垂幕を掛けるなど、市

問

汚泥処理施設整備事業の設計管理委託業務内容は。

福祉部長

この事業は3ヶ年計画で今年度は、進入路などと、施設本体の設計監理委託業務を計画しています。



石城駅横踏切

問

公共施設等総管理計画策定業務の内容は。

総務部長

合併当初から、多くの公共施設を抱えており、人口減少等により利用状況が変化していくことが予想され、長期的な視点を持って、更新・統廃合・長寿命化などについて平成27・28年度の2年間で計画を策定します。



対応が望まれる公共施設

# 創業起業 資金供給モデル事業

# 簡易水道事業の課題

産業建設常任委員会

厚生常任委員会

## 産業建設 常任委員会

## 厚生 常任委員会

### 創業起業資金

- Q 経済振興資金供給モデル事業1940万円で何社の創業を考えているのか。
- A 西予市経済資金供給協議会の審査を受けて、1社上限2000万円を想定しています。

経済振興課

### 宇和公共下水道

- Q 予算額3億7402万円計上されているが、完了見込みはいつ頃か。
- A 伊賀上、下宇和地区を新たに認可区域に加え、平成37年度の完了予定です。

下水道課

### えひめ南予博覧会

- Q 来年の南予博覧会のメインイベントは。
- A 既存の各種祭り(れんげまつり・乙亥大相撲等)の拡充強化を行うほか、ジオサイクリングなどを考えています。

経済振興課

### 国庫補助金終了

- Q 簡易水道事業について、今後の施設整備や事業の方向性は。
- A 整備に関する国庫補助の期限は平成29年3月です。城川地区では、布設管など施設のハード統合ではなく会計上のソフト統合を目指していますが、積立金や料金が組合ごと千差万別です。市内全域の102ある組合すべてから現在聞き取り調査を進めており、すべての組合からの調査を終えた後、協議を行ってなるべく早く方向性を定めます。

水道課

### 介護保険事業計画

- Q 計画内容は。
- A 第6期では、月額基準保険料を4,700円から5,600円に上げ、保険料算定を6段階から9段階へ細分化することで負担公平化を図りました。

高齢福祉課

### 誘致企業先の現地調査



味のちぬや工場視察(三瓶町)

下宇和地区に工場建設予定の「[株]味のちぬや(本社:香川県三豊市)」の経営している(株)愛媛ちぬやを視察。メンチカツを80万個/日生産されています。衛生管理はもとより、異物検査には、軟骨もチェック出来るX線装置が使われなど、品質管理に特に注意を払われていました。

下宇和の新工場では、本社工場並みの日量約250万個の生産予定。

### 認知症対策が進みます



平成27年度に導入される認知症ケアパス

増え続ける認知症の方への対応・対策は、西予市だけでなく、日本が抱える喫緊の問題です。平成27年度から新たな対策事業として「認知症ケアパス」の作成、「徘徊高齢者等SOS登録事業」、「高齢者あんしんネットワーク」などが開始されます。

施設整備も重要ですが、官民が一体となり、認知症に対する理解を更に進める必要があります。

住みなれた地域で安心して暮らせるようなまちにするために、市民の皆さまと一体となり取り組みが進むよう期待をし、議会としても努力してまいります。

### 陳情

「農協改革」の名による農業・農協つぶしをやめ、地域を守る陳情書

不採択

### 繭の価格

- Q シルク博物館での原材料費449万円について、繭の買い取り価格は。
- A 昨年3,000円/kgから4,000円に増額予定です。生産者年齢が高くなっており量の確保が難しくなっています。

農業水産課

### 空家解体

- Q 危険空家除却事業400万円で解体見込み数は。
- A 空家2,082軒の内158軒(8%)は解体の必要性があり、80万円上限で5軒程度を考えています。

建設課

### 医師確保の課題

- Q 市民病院に設置された婦人科・皮膚科の常勤化は。
- A 愛大から協力いただいています。県内では特に産婦人科医が不足しており、愛媛県全体での大きな課題です。

病院事業

### 地域を守る診療体制を

- Q 三瓶地区周末診療所の開業予定は。
- A 設計は完了しており、平成27年度に移転新築し、平成28年度4月から新診療所にて診療を始める予定です。

市民課

### 可燃性ごみ処理

- Q 野村クリーンセンターも老朽化してきたが今後は。
- A 地元周辺地区との施設継続使用に係る協定の期限もあり、施設閉鎖後は新規焼却施設を建設するのではなく、八幡浜焼却施設へ搬入を考えています。

環境衛生課

訂正 議会だより第43号P6で「赤い雫」と表記しましたが、「紅い雫」の誤りでした。

# 宇和地区小学校統合の方針は

## 教育長 教育環境と適正規模について 理解と賛同を得られるよう協議



藤井 朝廣

**問** 平成21年策定の西予市小学校再編計画に基づく再編が進んでいるが、宇和地区では保護者や地域住民からの理解を得られていない。統合するためには地域住民・関係者の理解と協力が不可欠だが、1校にすることにしているのか。

**教育長** 複式学級の解消を目的に小学校の適正規模化を図るため、長い期間と多くの皆さんの意見を集約したものが現在の小学校再編計画と理解しています。再編の進め方として、

未就学児童を含む保護者、地域住民など過半数以上の賛成を求めています。丁寧な合意形成が必要ですが、宇和地区については、来年度より本格的に進めていきますが、複式学級を有している間小学校と隣接の皆田小学校から検討協議を進めます。



子ども達により良き教育環境を

今後の協議において、現在の再編計画への反対意見がどうしても多い場合は、見直しを検討する必要があります。

### 問

一般質問への回答では、「検討する」や「協議する」との回答が多くあるが、適確な対応が感じられないので再質問する。

空き家対策について、アンケートを実施しデータを作成中と思うが、今後その利活用を含めた市の対応は、また、ふるさと納税

今後の方向性は。



(西予市HPより)

ふるさと納税のPR充実を期待

**副市長** 所有者等の意向調査について、鋭意集計しており、活用意思のある方は現在約100件程度です。アンケートをもとに、空き家台帳や空き家バンクを構築していき、空き家以外の物件を含めて市の活性化を検討します。

**市長** 特産品の取り扱いについては、西予市観光協会にお願いしており、一層の努力を促したいと思っています。

### その他の質問

- ・消防団応援事業所について
- ・地方版総合戦略について
- ・未来を担う若者支援について

# バイオスタウン構想の展望は

## 産建部長 広域的なバイオマス事業を推進することが今後の課題



浅野 忠昭

**問** バイオマスタウン構想の広がりが実感できない。バイオマスペレット工場は、初期の目標以上の生産・販売はできているか。また、ペレットストーブの普及促進は継続されているのか。バイオマスタウン構想は、今後どのような展開を計画されているのか。

**産建部長** 施設の生産販売実績は初期の目標を超えています。ペレットストーブは今後も森林環境税の補助事業を活用して、公共施設及び一般家庭への設置を支援しま



バイオマスペレット製造工場(城川町)

す。今後は、周辺市町との連携も模索しながら、広域的なバイオマス事業の推進を進めていくことが今後の課題だと考えています。

### 問

国主導の予算配分について、今までの手法と、これからの手法で何が違うのか。この違いを第2次総合計画にどのように位置付けて反映して行こうと考えているのか。

**財務部長** 国の画一政策から一歩出たところに発展のヒントがあります。地方創生を好機ととらえ、他市との差別化を図り、前を向いて行動したいと考えています。

**財務部長** 一般会計予算の中で自由に使えるお金はいくらあるのか。

**その他の質問**

- ・四国西予ジオパーク
- ・古代ロマンの里構想
- ・楠本イネについて
- ・財政規律について

自由に使えるお金は280億円の内、法令上の義務的経費、また、減らすことが極めて困難である人件費、公債費、市民の命に直結する事業費等を除くと、僅か70億円です。



地方創生で農村の再生は実現できるのか



元親 孝志

一般質問

# 公民館職員の増員を

## 市長 公民館機能の再構築を検討

**問** 地方衰退の原  
因は、明らかに  
産業の衰退にある。産  
業振興を考える上で、  
公民館への専門職員の  
配置はできないか。

**市長** 平成27年度より  
モデルケースとし  
て、再任用制度を活用し  
て、職員を配置する計画  
であります。公民館は、必  
置義務ではないので、地  
域づくり交付金事業を活  
用して、自治センターと  
して機能させることがで  
きます。島根県雲南市に  
公民館を法人化させてい  
る先進的な事例がありま  
す。  
今後は、全国的に法人  
化に向けた動きが出てく



地方創生に向けた「地域づくり計画書」

**問** 市内には2つ  
の農業関係の高  
校がある。生徒・学校  
の連携を密にして、  
後継者育成は図れない  
か。また、卒業生が新規  
就農をしやすいするた  
めの「農業用インキュ  
ベーター施設」は検討  
できないか。

**産建部長** 3者の連携が重  
要であります。先  
ずは市長が会長の「農業  
教育振興協議会」を通し  
て、3者の協議を進めて  
いくことが重要であると  
考えます。  
また、「農業用インキュ  
ベーター施設」については、  
市が農地や農業施設を保  
有することには制約等も  
あり難しいと考えます。

むしろ、農業法人やJA  
がこの役割を担っていた  
だくのが良いと考えま  
す。

**問** 韓国が展開す  
る「農村愛・1社  
1村運動」の西予市版  
を検討してはどうか。

**産建部長** 県においては、  
平成22年から『元  
気な集落づくり応援団マ  
ツチング事業』を展開さ  
れています。これは、高齢  
化過疎化によって人手の  
足りない集落に対して、  
企業・大学・NPOが登録  
を行い支援活動を行う事



農業用温室施設(野村高校)

業です。1社1村運動は、  
趣旨は理解できませんが、  
現状では、企業と農家が  
連携を取っていくこと  
は、難しいと考えます。従  
って市が仲介を斡旋する  
ことは現段階では考えて  
いません。

**その他の質問**  
・地方創生の市の考え  
は  
・地方創生特区につい  
て  
・U・Iターンについ  
て  
・住民自治再構築につ  
いて  
・河成段丘に大吊橋建  
設について



田中 徳博

一般質問

# 小学校統合の現状と対応は

## 教育長 ほとんどの児童が「楽しみ」と回答

**問** 小学校統合の  
長所としては、  
大人数で切磋琢磨でき  
ること、短所は人間関  
係の醸成の難しさがあ  
げられるが、德育・知  
育・体育等育成につい  
て現場の対応は。

**教育長** 昨年4月に統廃  
合した三瓶小学校  
の4年生から6年生まで  
の児童135名を対象に  
アンケートを行った結  
果、94.8%の児童が学校  
へ行くのが楽しみと答え  
ており、特に問題は認識  
していません。  
德育については、道徳  
の時間を中心に心を育て  
る教育を推進。知育につ

いては、人数が増えたこ  
とで可能になる学習形態  
や内容に応じた多様な学  
習を実施。体育において  
は、複式学級が解消した  
ことで体力・技術の向上  
につながっている事例も  
あります。  
現場としては、児童一  
人一人の状況を的確に判  
断し、個に応じた指導を  
行っています。

**問** 西予市生活交  
通バス・デマン  
ド乗合タクシーの利用  
状況とその改善点は。

**財務部長** 現在、生活交通  
バスは運行開始時  
に比べ利用者が約2割減  
です。路線変更のため、目  
的地への所用時間が長く  
なったことが原因の一つ  
と考えられます。利用者



元気に学ぶ三瓶小学校児童

の意向を反映できるよ  
う、運行内容を改善して  
いきます。

宇和地区デマンド乗合  
タクシーも、利用者が減  
少している地区がありま  
す。「予約電話がわずらわ  
しい」や「利用方法が解ら  
ない」と声があり、使いや  
すいよう運行改善してい  
きます。



デマンド乗合タクシー

**財務部長** 協力隊事業  
は平成21年度  
から導入し、現在は  
ジオパーク推進室に  
1名、明浜支所、野村  
支所・三瓶支所に2  
名ずつ、城川支所に  
1名、計8名が活躍  
されております。  
協力隊は、地域に  
貢献し、地域は協力  
隊の自立・定住に協  
力し、互いに扶助しあう  
相互関係が地域の活性化  
に寄与しています。  
平成28年3月末で2名  
の隊員が任期を終えま  
す。協力隊と定期的な話  
し合いを進めており、今  
後の自立安定に向けた必  
要な支援策を検討してい  
きます。

**問** 地域おこし協  
力隊の現状と任  
期満了後の扱いは。

**その他の質問**  
・廃校となる学校施設  
の利用について

# 西予市議会

# 合併10周年の歩み

合併10周年の歩み

西予市議会は、平成16年4月に5町が合併をして、議員定数31名でスタートしました。当時の自治法では、法定上限定数は26名でしたが、合併前の議会は5町で78名の町議会議員で構成されており、いきなり26名では周辺地域の民意が反映されないのではと危惧し、合併の定数の特例を活用して、各町1名増の31名(中

## 議員定数と選挙区制

初代沖野議長は、「議員間の融和と5町の一体感の醸成」をモットーに議会運営にあたりました。初めの4年間は、町から市になったことにより、各条例の名称等の変更、(約600の条例改正)と5町の条例統一化が大きな仕事でした。また一方

## 合併の後片付け

### 新しい町づくり

3期目には、東日本大震災で福島第一原子力発電所の事故等もあって、再生可能エネルギーで最先端を行くドイツを視察・研修しました。

## 議会基本条例制定

2期目の特筆すべきことは、4年目の山本議長のもとで、愛媛県下初め



合併10年を振り返って

西予市議会議員 松山 清

西予市議会では、人口減少が進む中、特に周辺部の疲弊はあまりにも急激でありその対応を今後の急務の課題であると捉え、西予市創生特別委員会を設置してこの問題を重点的に取り組むことといたしました。議会基本条例に基づく市民との意見交換会などを重ね、市民と共に今後のまちづくりを進めていくなど、次のステップに進んで参りたいと考えています。

## 議会としての視察

1期4年の最後の年には、議員会費を各自積み立てて、中国の三峡ダムを視察に行きました。隣国でありながら近くて遠い国であった中国が、目覚ましい経済成長を遂げています。そこで成長の原動力である三峡ダムを視察しました。

## 議員定数と議員報酬

平成の大合併の主たる目的は、財政効率を柱とする行財政改革でした。職員数は、この10年間で約150名削減されました。議会においても、議員

## 愛媛県政発足記念日

### 知事表彰を受賞



山本昭義議員が平成25年2月に、梅川光俊議員が平成27年2月に、永年にわたる自治功労者として、愛媛県知事から表彰状が授与されました。

# 西予市 総合戦略のポイントは

財務部長 産・官・学・金・民の連携で



二宮 一郎

一般質問

## 問

西予市総合戦略を作るポイントと市民の知恵と発想を反映する仕組みをどのように考えているのか。

財務部長 今年度中に策定することが、国からの努力義務になっていきます。

ポイントは、他の地域がやっていないことをやってみることが大切です。当市では、ジオパークが特色ですから、この地域の宝を活かした政策が西予市のブランドを確立することになると考えます。また、そのためには、

## 問

地方創生は、人口を地方へ還流して地方を元気にすることだが、西予市で受け入れる仕組みや産業をどのように考えるのか。

財務部長 市内全域に高速ブロードバンドによるインターネット網が張り巡らされていることや、松山空港から車で1時間の距離にあり、都市部への行き来に関しては優位性があると考えます。

都会から人呼び込むには、特性を活かし、テレワークや、場所を問わな



米博物館

い仕事に着目する必要があると考えます。例えば米博物館の空きスペースをリノベーションして人を受け入れる場所にしたり、起業する人を増やすための支援が必要と考え、今年度、創業起業するための取り組みを行います。

## 問

西予市の介護認定者の現状は。地域包括ケアシステム構築への課題と進捗状況は。

新・オレンジプランのポイントと認知症に対する対策は。

福祉部長 昨年10月末現在の認定者数は、3340人、要介護1から5までが2408人、要支援1・2の方が932人、認定率は、65歳以上の約2割となっております。およそ5人に一人がサービスを受けています。

西予市の現状を分析すると、デイサービスの利用や簡単な生活支援を必要とされる高齢者が多く、支えるための元気な高齢者の参加による地域での支えあい活動が必要。そのため、モデル地区を選定して取り組み



認知症の模擬訓練(明浜町高山地区)

新・オレンジプランは、団塊の世代が75歳以上となる平成37年を見据え、認知症の方の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境の中で、自分らしい暮らしを続けることができる社会を実現しようというものです。平成27年度から認知症地域支援推進員を配置します。

# 議員定数・報酬・政務活動費 審査報告

議会運営委員会

## 市民との意見交換会



(野村公民館)

議会運営委員会では、昨年9月16日議長からの諮問を受け、「議員定数・報酬・政務活動費」について審査をしました。

その間、「市民との意見交換会でのアンケート」や、「1000人の皆さまへの市民アンケート」などを参考に議論を重ねました。アンケートにご協力いただいた皆様、大変にありがとうございました。

また、高知県香美市が、昨年9月の改選前に定数の条例改正をされていたため、視察研修をおこないました。

最後に、「議員へのアンケート」を実施、その後議論をして、議会運営委員会の結論を議長に報告しました。  
審査結果は次のとおりです。

- 議員定数 20名(1名削減)
- 報酬 32万3千円(現状維持)
- 政務活動費 月額1万円(現状維持)

※定数を変えるには、議会の議決が必要です。今後の議会の対応にご注目ください。

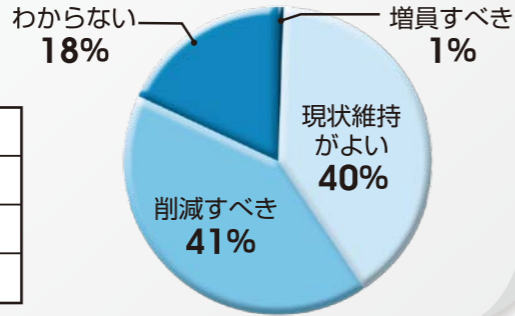
## 視察研修 高知県香美市



## 市民アンケートの結果 回答人数530名 回答率53%

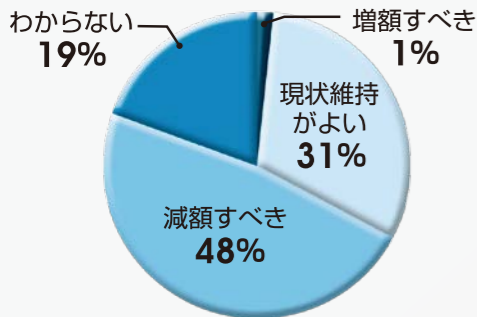
### 議員定数

増員すべき	4人	0.8%
現状維持がよい	212人	40.0%
削減すべき	219人	41.3%
わからない	95人	17.9%



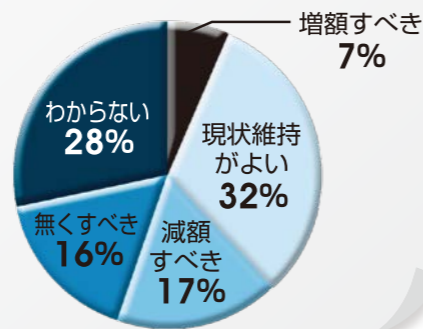
### 議員報酬

増額すべき	9人	1.7%
現状維持がよい	165人	31.1%
減額すべき	254人	47.9%
わからない	102人	19.3%



### 政務活動費

増額すべき	34人	6.4%
現状維持がよい	168人	31.7%
減額すべき	92人	17.4%
無くすべき	86人	16.2%
わからない	150人	28.3%



## 議員へのアンケート結果

Q1 議員定数について(現状 21名)

現状のまま	12
増員すべき	0
削減すべき	8 (1名減(2人)、2名減(2人)、3名減(4人))
その他	0

Q2 議員報酬について(現状 323,000円/月)

現状のまま	13
増額すべき	1 (400,000円/月(1人))
減額すべき	4 (300,000円/月(2人)、303,000円/月(2人))
その他	2

Q3 政務活動費について(現状 10,000円/月)

現状のまま	10
増額すべき	10 (20,000円/月(2人)、30,000円/月(7人)、100,000円/月(1人))
減額すべき	0
その他	0

## 終わりに・・・

今回実施した「市民アンケート」の自由記述として、「議会の活動」や「議員の活動」について、何をしているのか良く分からないとのご意見を数多く頂きました。

議会では、昨年「市民との意見交換会」に取り組んでいます。が、参加者が少数で今後の運営に工夫が必要です。

今後は、少しでも市民の皆様を理解して頂くためのあらゆる努力をして「開かれた議会」を目指さなければいけないと思います。是非、議会に関心と注目をよろしくお願いします。